

補助事業番号 21-096

補助事業名 平成21年度日本・イタリア中小企業交流・展開に関する調査研究等補助事業

補助事業者名 東京商工会議所

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

中小機械工業の活性化と海外事業展開促進を図るため、主テーマ毎の分科会セミナー及びシンポジウムを実施しながら、中小機械工業の海外事業展開に関する調査研究事業を行うことにより機械工業を中心とする中小企業の振興に寄与すべく事業展開の高度化を図ると同時に、両国機械工業の振興に努める。

### (2) 実施内容

#### ① 日本・イタリア中小企業交流・展開に関する調査研究

テーマ別分科会セミナーの開催。JETROの推進する「RIT事業」を中心とした「中小企業交流」の他に、「ビジネス環境整備」・「エネルギー」・「自然災害管理」のテーマに即し中小企業相互、大企業同士のビジネスマッチングを模索・検討した。

#### ② 「日伊ビジネス・グループ ミーティング」シンポジウム開催 (<http://www.ijbg.jp/>)

有識者及び商工会議所会員企業をもって構成する「コアメンバー」が中心となり、日本・イタリア両国から300名を超える企業経営者を集めた。機械工業・ナノテク分野を中心とした中小企業交流の取り組みを発表するとともに、同ミーティングを総括したコミュニケ（共同宣言文書）を発表した。機械工業・ナノテク分野の交流取り組みとして、長野県テクノ財団とヴェネト・イノベーションとのナノテク分野での交流状況、及び東北大学とトリノ工科大学との中小企業支援の活動報告について発表いただいた。

## 2 予想される事業実施効果

#### ① 日本・イタリア中小企業交流・展開に関する調査研究

国内の中小企業は、飽和する国内市場の中で新興国との競争にさらされており、国内マーケットを対象とするビジネスでは今後の成長の期待は薄い。そのような環境下、企業数全体の99%を超える日本の中小企業も、生き残るために、特に機械工業において、イノベーションを軸とした新たなビジネスモデルの構築および海外展開が喫緊の課題となっている。一方イタリアの中小企業は、独自のファミリー経営を母体としながら、マーケットを世界に拡大し、特徴ある産業クラスターを形成している。わが国産業の健全な発展のためには、その主役を担う中小

企業の経営基盤の強化は不可欠であり、その自助努力と相互研鑽促進のためには、イタリア産業クラスターを中心とする両国企業間交流は非常に大きな意味をもつ。今後とも日伊間において、多くのビジネスマッチングの要望がもたらされるものと推測される。

②「日伊ビジネス・グループ ミーティング」シンポジウム開催

引き続き、分科会を継続させ両国のビジネス促進、および第三国における協力体制の充実を図る。今年度においては、4つの分科会テーマを設けたが、再度テーマを検討し、より充実した分科会セミナーが実施できるよう、イタリア側と協議を行う。

3 本事業により作成した印刷物等

第21回「日伊ビジネス・グループ ミーティング」報告書

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：東京商工会議所（トウキョウショウコウカイギシヨ）

住所：〒120-0002

東京都千代田区丸の内3-2-2

代表者：会頭 岡村 正（オカムラ タダシ）

担当部署：国際部（コクサイブ）

担当者名：課長 小林 英文（コバヤシヒデフミ）

電話番号：03-3283-7647

F A X：03-3216-6497

E-mail：[kokusai@tokyo-cci.or.jp](mailto:kokusai@tokyo-cci.or.jp)

U R L：<http://www.tokyo-cci.or.jp/>